
KOHJINSHA SX シリーズ

BIOS 設定プログラム説明書

―― 注意事項 ――

BIOS 設定を間違えると、深刻なトラブルを引き起こすことがあります。
内容を変更する際はご注意くださいとともに、ご理解できない場合は変更を行わないことをお勧めいたします。
BIOS 設定の変更により正常に動作しなくなった場合、有償で引き取り・修理となることがあります。

◆ BIOS について

BIOS とはパソコン制御を行うプログラムの一種です。搭載されているメモリー、ハードディスクなどの情報を CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域に保存し、パソコンが起動するとき内容を比較することで、本体が正常かどうかのチェックを行っています。

その BIOS が記憶する情報を変更するプログラムが BIOS 設定プログラムです。

BIOS 設定の変更を行う場合、あとで参照できるよう現在の設定をメモなどに控えておくことをお勧めいたします。

また、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、本書の表示と多少異なる場合があります。

◆ BIOS 設定プログラムの起動方法

電源投入直後、KOHJINSHA ロゴが表示されているときに [F2] キーを数回押します。

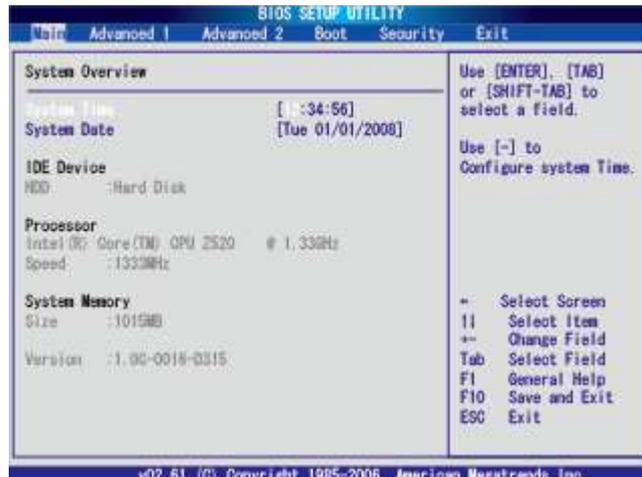


[図 1] KOHJINSHA ロゴ

本体のチェックが完了後、BIOS 設定プログラムのトップメニューが表示されます。

◆ トップメニュー

変更したい項目をカーソルキー[←][→]を使い、選択項目を変更します。



[図2] トップメニュー

トップメニューからは以下の各メニューへの切り替えができます。

- Main ... 本体の時刻設定、本体の状態確認
- Advanced 1 ... USB など内蔵機器の設定
- Advanced 2 ... LAN など内蔵機器の設定
- Boot ... 起動順位設定
- Security ... パスワードなどセキュリティ設定
- Exit ... 設定の保存、取り消し、BIOS 設定の終了

◆ Main メニュー

変更したい項目をカーソルキー [↑][↓]で選択します。



[図3] Main メニュー

Main メニューからは以下の設定が行えます。

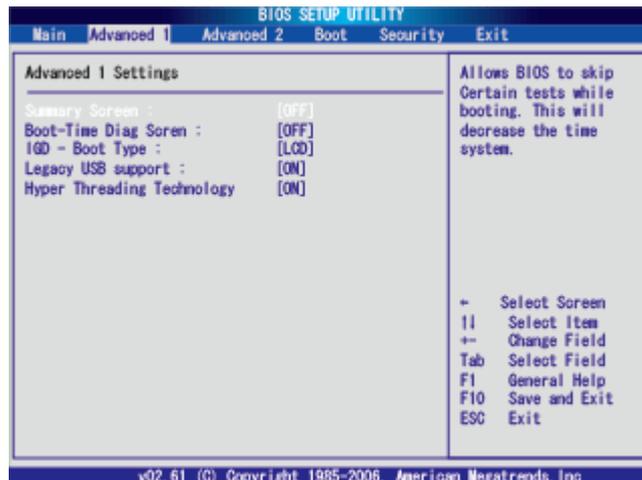
- System Time
本体の時刻設定を行います。
数字キーで値を入力(24 時間制)し、[Tab]キーを押すと次の項目に移動します。
- System Date
本体の日付設定を行います。
数字キーで値を入力し、[Tab]キーを押すと次の項目に移動します。

以下の項目は本機の設定が表示されます。

- IDE Device ... 接続中の IDE 機器
- Processor ... CPU の種類、型式
- Speed ... CPU の動作周波数
- Size ... 拡張メモリのサイズ
- Version ... BIOS のバージョン

◆ Advanced1メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]+[+]キーまたは[Fn]+[P] キーで、設定値を切り替えます。

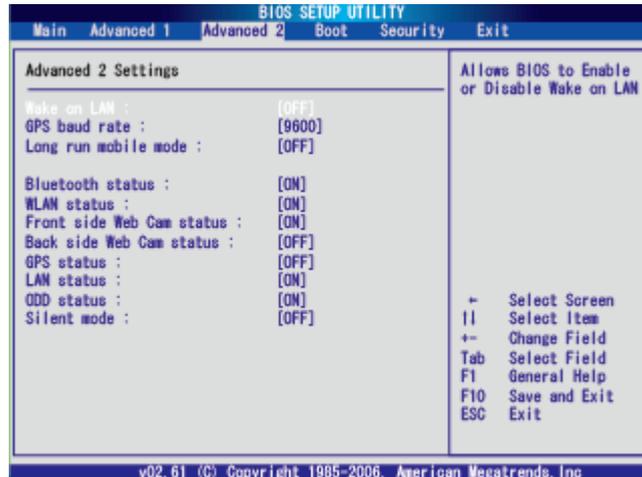


[図4]Advanced1メニュー

- Summary Screen
起動時、サマリー画面を表示する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- Boot-time Diagnostic Screen
起動時、検査画面を表示する(Enabled)、しない(Disabled)を指定します。
- IGD - Boot-Type
起動時、画面表示を LCD のみ表示する(LCD)、アナログ RGB ポートのみ表示する(CRT)を指定します。
- Legacy USB Support
Legacy OS 使用時、USB ポートのエミュレーションを使用する(ON)、しない(OFF)を指定します。
また、USB 機器から起動する場合、(ON)に設定する必要があります。
- Hyper Threading Technology
CPU 機能の Hyper Threading を使用する(ON)、しない(OFF)を指定します。

◆ Advanced2メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]+[+]キーまたは[Fn]+[P] キーで、設定値を切り替えます。



[図5]Advanced2メニュー

- Wake on LAN
Wake on LAN の初期設定値を指定します。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
有線 LAN 搭載モデルのみ有効です。
- GPS baud rate
GPS モジュールとの通信速度の初期設定値を指定します。GPS 搭載モデルのみ項目が存在します。
- Long run mobile mode
低消費モードの起動時の初期設定を行います。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
無効(OFF)にした場合、下記の項目の有効(ON)、無効(OFF)を個別に設定できるようになります。
- Bluetooth status
本体前面の RF スイッチ有効時の Bluetooth の初期設定値を指定します。
有効(ON)、無効(OFF)から選択します。Bluetooth 搭載モデルのみ項目が存在します。
- WLAN status
本体前面の RF スイッチ有効時の無線 LAN の初期設定値を指定します。
有効(ON)、無効(OFF)から選択します。無線 LAN 搭載モデルのみ項目が存在します。
- Front side Web Cam status
電源投入時の Camera の初期設定値を指定します。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
有効(ON)にした場合、「Back side Web Cam status」の設定が OFF になります。
Camera 搭載モデルのみ項目が存在します。
- Back side Web Cam status
電源投入時の Camera の初期設定値を指定します。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。
有効(ON)にした場合、「Front side Web Cam status」の設定が OFF になります。
Camera 搭載モデルのみ項目が存在します。

- GPS status
電源投入時の GPS の初期設定値を指定します。
有効(ON)、無効(OFF)から選択します。GPS 搭載モデルのみ項目が存在します。
- LAN status
電源投入時の有線 LAN の初期設定値を指定します。
有効(ON)、無効(OFF)から選択します。有線 LAN 搭載モデルのみ項目が存在します。
- ODD status
電源投入時の ODD(光学ドライブ)の初期設定値を指定します。有効(ON)、無効(OFF)から選択します。有線 LAN 搭載モデルのみ項目が存在します。
- Silent mode
電源投入時のサイレントモードの初期設定値を指定します。
有効(ON)、無効(OFF)から選択します。

◆ Boot メニュー

機器の起動する優先順位を設定します。数字の順番が起動順位となります。



[図6] Boot メニュー

優先順位を変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Fn]+[;]キーおよび[Fn]+[P]キーで、順位を切り替えます。

メディアカードが挿入されている場合、USB 接続機器が接続している場合には、「USB Drivers」が表示されます。「USB Drivers」にカーソルを移動させて、[Enter]キーを押した場合、[Fn]+[;]キーおよび[Fn]+[P]キーで起動する機器を選択することができます。

(光学ドライブ、フロッピードライブを接続している場合は、メディアを挿入していないと表示されません)

◆ Security メニュー

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーで設定を行います。
また、設定したパスワードを忘れた場合、有償で引き取り・修理になります。



[図7] Security メニュー

- Change Supervisor Password
ユーザーパスワードにおける BIOS アクセスレベル設定を、パスワードにより制限を行います。
すでに、パスワードを設定しているときは “Enter Current Password” が表示されます。
現在設定しているパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
“Enter New Password”の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
同一手順で“Confirm New Password”項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
正常にパスワードが設定された場合、“Password installed”が表示されます。
現在設定されているパスワードを解除する際は、“Enter New Password”に何も入力せずに[Enter]キーを押します。“Password uninstalled”が表示されます。
- Change User Password
本体の起動、BIOS 設定の変更を、パスワードにより制限を行います。
すでに、パスワードを設定しているときは “Enter Current Password” が表示されます。
現在設定しているパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
“Enter New Password”の項目に新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
同一手順で“Confirm New Password”項目に確認のため、再度入力し、[Enter]キーを押します。
正常にパスワードが設定された場合、“Password installed”が表示されます。
現在設定されているパスワードを解除する際は、“Enter New Password”に何も入力せずに[Enter]キーを押します。“Password uninstalled”が表示されます。

■ Supervisor Password、User Password 設定後のメニュー

Supervisor Password、User Password 設定後に増えた項目を説明します。

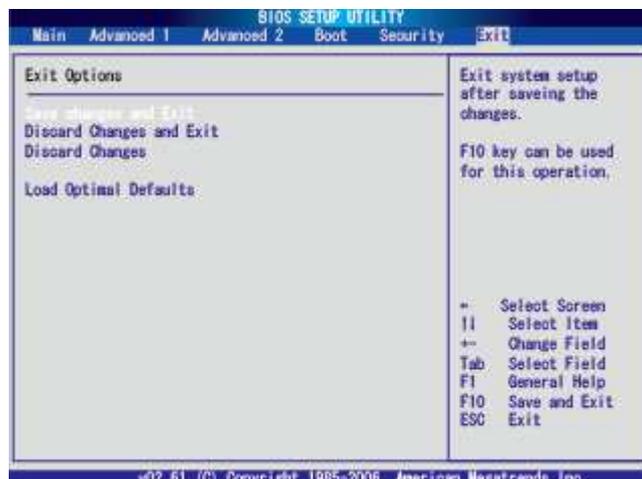
- User Access Level
ユーザーパスワードでの BIOS 変更に対するアクセスレベルを設定することができます。
“No Access”、“View Only”、“Limited”、“Full Access”の 4 種類が設定できます。
 - No Access ……BIOS 画面を確認することかできなくなります。
 - View Only ……BIOS 画面で設定を確認することができます。
設定の変更を行うことはできません。
 - Limited ……BIOS 画面で“メイン”、“Advanced1”、“Advanced2”メニューの
設定項目が変更可能です。
 - Full Access ……BIOS 画面で設定変更することができます。

- Password Check
パスワードを入力する場面を設定することができます。“Setup”、“Always”の
2種類が設定できます。
 - Setup ……[F2]キーを押し、BIOS 変更を行う際に、パスワード入力が必要になります。
 - Always ……KOHJINSHA ロゴの表示が消えた後でパスワード入力が必要になります。

◆ Exit メニュー

Exit メニューからは以下の設定が行えます。

変更したい項目をカーソルキー[↑][↓]で選択し、[Enter]キーで決定します。



[図7]Exit メニュー

- Save Changes and Exit …… 現在の設定を保存し、BIOS 設定プログラムを終了します。
- Discard Changes and Exit …… 現在の設定を破棄し、BIOS 設定プログラムを終了します。
- Discard Changes …… 現在の設定を破棄し、以前保存されている値にもどします。
- Load Optimal Default …… 現在の設定を破棄し、初期設定値にもどします。

各項目を決定すると、内容確認のためのメッセージが表示されます。

その実行する場合は[Yes]、取り消す場合は[No]をカーソルキー [←][→]で選択します。

[Enter]キーを押すと決定します。